

燕市産業史料館「燕の金属洋食器デザイン展」を開催

－デザインという視点から燕の金属洋食器を紹介します－

燕市産業史料館では「燕の金属洋食器デザイン展」を6月16日より開催します。

日常の食シーンではカトラリーは欠かせないものとなっています。燕市ではカトラリーの国内シェアは90%以上を誇り、製造のスタートは1911（明治44）年までさかのぼります。その間、多くの企業や職人の切磋琢磨による製造技術の進歩で、品質の向上、デザイン力の強化が図られ、国内にとどまらず、世界からも高い評価を得ています。

本展では、燕の金属洋食器製造の歴史を振り返りながら、洋食器のデザインの変遷をたどります。

【「燕の金属洋食器デザイン展」の概要】

1. 期 間：6月16日(火)～7月20日(月・祝)
2. 時 間：午前9時～午後4時30分 ※休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
3. 会 場：燕市産業史料館 別館 企画展示室(大曲4330-1)
4. 入館料：大人400円、小・中・高校生100円
5. 内 容：燕の金属洋食器のデザインの歴史を物語る資料、グッドデザイン賞などの受賞歴がある金属洋食器等約50点
6. 企画展関連イベント：作品解説会
 - ・ 日 時：7月5日(日)午後2時～午後3時
 - ・ 会 場：燕市産業史料館 別館 企画展示室
 - ・ 解説者：小林貞夫氏（日本金属洋食器工業組合 理事長）
 - ・ 参加費：無料(入館料別途必要)
7. ミュージアムショップ取扱商品
 - ・ 企画展出展企業製造の金属洋食器
8. その他
常設体験としてチタン製スプーン酸化発色体験も行っています。
企画展と併せて、スプーンの魅力をお楽しみください。



▲企画展の詳細



本件についてのお問い合わせ先
燕市産業史料館：桑原・佐藤
電話：0256-63-7666（直通）